



2024年6月26日

Science Based Targets (SBT) イニシアチブから 「ネットゼロ目標」の認定を取得

～ 2050年度までにバリューチェーン全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロへ ～



不二サッシ株式会社（以下、不二サッシ）は、不二サッシおよび連結会社（以下、当社）の温室効果ガス排出量の削減目標がScience Based Targets イニシアチブ（SBTi）^{*1} ネットゼロ基準^{*2}を満たしている目標であるとして、2024年6月^{*3}にSBT短期目標およびネットゼロ目標の認定を取得しました。SBTネットゼロ目標の認定取得は、日本の建材業界としては2社目^{*4}となります。

気候変動に関する政府間パネル（IPCC）による最新の報告によれば、産業革命以降の地球の気温上昇を1.5℃に抑えることはまだ可能であるものの、早急な対応が必要とされています。そのためにSBTiは2030年までに全世界の温室効果ガス排出量を現在の半分に削減し、2050年までに温室効果ガス排出量ネットゼロの達成に向けて迅速かつ大幅な排出削減の必要性を訴えています。

このたび認定を取得した、当社の掲げる目標は下表のとおりです。

時間軸	当社の温室効果ガス排出量	
	Scope ^{*5} 1+2	Scope3
短期目標 (1.5℃水準)	2030年度までに42％削減 (2021年度比)	2030年度までに30％削減 (2021年度比)
長期目標 (1.5℃水準)	2050年度までに90％削減 (2021年度比)	2050年度までに90％削減 (2021年度比)
ネットゼロ目標	2050年度までにバリューチェーン全体でネットゼロ*を達成 *Scope1+2, 3排出量を各90％削減（2021年度比）、 残余排出量 ^{*6} は中和化 ^{*7}	

※Scope3の2030年度目標の削減対象はカテゴリ1、カテゴリ4、カテゴリ11です。

※一部海外グループ会社を目標の対象から除外しております。

※Scope3のカテゴリ14 フランチャイズ、15 投資は算定対象外です。

- *1 SBTi：産業革命前からの気温上昇を2°C未満に抑えるため、企業による科学的根拠に基づいた温室効果ガスの排出削減目標達成を推進することを目的として設立されたイニシアチブ
SBT：パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガスの排出削減目標
- *2 ネットゼロ基準：産業革命前からの気温上昇を1.5°C以内に抑え、2050年までのネットゼロ（大気中への温室効果ガス排出量が正味ゼロの状態）を達成する目標を設定するための、標準化された基準
<https://sciencebasedtargets.org/resources/files/Net-Zero-Standard.pdf>
- *3 SBTのウェブサイト上での公開は7/11を予定
- *4 SBTのウェブサイト上で、6月24日に「Building Products」セクターについて調査した結果
- *5 Scope：企業による温室効果ガス排出量の算定・報告の対象範囲。Scope1は燃料の燃焼など自社からの直接排出、Scope2は他社から供給された電気などの使用に伴う間接排出、Scope3はScope1,2以外の他社の排出による間接排出。
- *6 残余排出量：ネットゼロ目標年の時点で、自社のサプライチェーン内で削減しきれない排出量
- *7 中和化：自社サプライチェーンの外で、炭素除去技術などを活用し残余排出量を相殺すること

お問い合わせ

不二サッシ株式会社 サステナビリティ推進室

MAIL : sustainability@fujisash.net TEL : 03-6867-0755